

2026年度「渋谷再開発協会 春季視察会」を5月28日に開催

—「TAKANAWA GATEWAY CITY」「BLUE FRONT SHIBAURA」を視察—

2026年6月 25 日

一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会は、2026年5月28日に春季視察会を実施し、TAKANAWA GATEWAY CITY(東日本旅客鉄道株)および BLUE FRONT SHIBAURA(野村不動産株) の先進的な都市開発事例を視察しました。

■視察の目的

- 最新の都市開発・エリアマネジメントの動向を把握し、渋谷の将来像に活かす
- 歩行者中心の空間設計や回遊性向上の取り組みを学ぶ
- 広域連携によるまちづくりの実践事例を確認する

■視察内容

- TAKANAWA GATEWAY CITY
歴史資源と先端技術を組み合わせた「エキマチ一体」の都市づくり、歩行者デッキによる回遊性向上などを視察
- BLUE FRONT SHIBAURA
水辺空間を活かしたワーク&ライフ提案、防災・インフラ強化、エリアマネジメント組織「芝東京ベイ協議会」の取り組みを視察

■得られた主な示唆

- ①歩行者中心の都市設計:回遊性向上に向けた空間づくり
- ②歴史・文化と技術の組み合わせ:地域の特性を活かしながら新たな価値を生み出す手法
- ③広域エリアマネジメントの可能性:複数地区が連携して地域課題に取り組む仕組み
- ④防災・インフラの重要性:高密度エリアに求められる都市基盤整備

【視察の様子】



【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前身の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年には一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、「サステイナブルな歩いて楽しいまちづくり」を推進。現在、約120 団体・企業が加盟して活動